

『 風は南から 』

令和6年度 校長室便り
(3月21日)(第25号)



「 最後にご褒美 ! 」

3月19日(水)に卒業生がひょっこり校長室を訪ねてくれました。「校長先生、13日に志望大学に合格しました。報告に来ました。21日には島立ちします」。教員をしていてこんなに嬉しい瞬間はありません。彼は箱根駅伝にも出場する東京の私立大学の放射線学科に進学します。共通テストを受験し、私立大学、国公立短期大学まで受験し、この時期にやっと進路先が決定しました。「最後までよく頑張った」と思わず握手をしてしまいました。達成感と4月から始まる東京での大学生活への期待感に、表情がいきいきしていました。他にも、3月12日の国公立大学後期日程まで受験した3年生がいます。周りの人が進路を決定していく中で、不安を抱えながら最後まで頑張り抜いた生徒に本当に敬意を表します。受験は、本当にきつくて誰しも早く楽になりたいと思います。それでも耐えて、最後まで頑張り抜いた人に不思議とご褒美がやってきたのをこれまで何度も見てきました。

2年せりよさ「ポスターセッション」



3月19日(水)6・7限目に普通科2年生の「せりよさ(総合的な探究の時間)」で取り組んだ科学探究成果発表会「ポスターセッション」を実施しました。昨年度までは「えらぶ仕事図鑑」の製作に取り組んでいましたので、科学探究は初めての試みでした。2年生32組を半分に分けて発表してもらい、体育館に16枚のポスターが貼られた時は圧巻でした。5分間のプレゼンを5回行い、見学者には自由に観覧してもらいました。お忙しい中、和泊町教育長、指導主事をはじめ、保護者にも観覧していただきました。回を重ねる度にプレゼンも上手になり、質問にも適確に答える場面を多く拝見しました。来年は、もっと多くの方に見学してもらおうと考えています。素晴らしい発表ばかりでした。2年生の皆さん、本当にご苦労様でした。

1・2年「百人一首大会」



3月19日(水)普通科1・2年生対象の学級対抗「百人一首大会」が行われ見学しました。1限目に1年2組VS2年1組、4限目には1年1組VS2年2組で、4・5チームの対抗戦で量のある武道館で競い合いました。短い期間で練習し、初めて体験する人も多かったようですが、上の句から反応する人も多く、皆さんの努力ぶりに感心しました。国語科の先生方の風流ある読みの後に、「パン」という音とともに歓声が上がリ、思っていたよりも盛り上がっていました。最終的には2年生が勝利を収めたようですが、1年生が勝ったチームもあり大変頼もしく感じました。生徒会の生徒と来年度の「クラスマッチ」の種目に加えてもいいのではと、後で話をしたところでした。

「合格体験を語る会」



3月14日(金)5・6限目に普通科対象の「合格体験を語る会」を実施しました。今年は、忙しい中10名の卒業生が参加してくれました。進路先は、国公立大学(推薦入試・一般入試)、私立大学(推薦入試)、専門学校、公務員と多岐にわたり、進路を決めるまでの経緯や入試科目の勉強の仕方、受験校の絞り込み等、自分の経験を踏まえて詳しく話してくれました。会場の1・2年生からも「過去問は何年分解きました?」「2年に上がるタイミングでは何をしていましたか?」等いろいろな質問が出されていました。私が印象に残ったのが、「1・2年生の時にやっておけばよかったこと、失敗したこと」についてでした。

- ・スマホを使いすぎて集中力がなくなった。
- ・勉強する習慣を身に付けておけばよかった。
- ・苦手教科や分野を後回しにしてしまった。
- ・漢検や英検を受験しておけばよかった。
- ・部活動を一区切りしてから焦った。
- ・自分を過信しすぎていた。

また、「朝型の勉強が自分には合っていた」、「1週間ごとに計画を立てて取り組んだ」、「学校や図書館をよく利用した」、「クラスの勉強する雰囲気よかった」等、参考になるアドバイスも多く聞けました。後日改めて「合格体験記」も配布する予定です。熊本大学に合格した池沢さんの「今年のこの会で先輩の話を聞いて熊本大学を志望するようになりました」という言葉も印象的でした。

1・2年生の皆さん、まずは3月の春休みをうまく過ごして新年度を気持ちよく迎えたいですね。卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。

第41回鹿児島沖高同窓会



3月15日(土)中原別荘で行われた第41回鹿児島沖高同窓会総会・懇親会に福井同窓会長と参加してきました。私が沖高の近況を報告し、参加された方々からは学生時代の沖高の様子を伺いました。中には歴代の沖高校長をはじめ、大学の教授や小中学校の教員をされていた方が多くいらっしゃいます。まさに「教育の島・沖永良部島」を実感しました。最後は、サイサイ節の総踊りでお開きとなりました。

最後の「学年朝会」



3月17日(月)今年度最後の学年朝会が行われ、2年生に参加しました。まず、大島特別支援学校沖高支援室の泊先生による講話がありました。先日の卒業生のお別れ会でカレーを料理した際に考えた「調理師と具材」の関係を「人生」に例えて話されました。調理師が具材を使って旨味や甘味を出すように、人が人を生かしたり、人に生かされたりするのが人生である。どちらの立場になってもいように努力してほしい。そして、あと1年すれば島立ちして社会に出ることになる。大変なことやつらいことに出逢うかもしれない。その時に「自分が成長できる機会」だにとらえ、自分を支えてくれる周りの人に感謝できる人間であってほしいという話がありました。次に、生徒会長の田中さんから、週番の仕事内容やチェック表の変更等について説明がありました。週番活動を活性化したいという生徒会の思いが伝わってきました。有意義な会でした。